



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月7日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)栗原 斉 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日~平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	10,265	△0.1	1,284	2.5	1,288	3.1	818	2.6
29年12月期第1四半期	10,272	1.9	1,253	22.9	1,249	24.5	797	33.0

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 699百万円(△13.8%) 29年12月期第1四半期 812百万円(197.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	42.07	—
29年12月期第1四半期	41.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	51,845	38,461	65.9
29年12月期	51,448	38,001	65.5

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 34,179百万円 29年12月期 33,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年12月期 期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 特別配当5円00銭

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,200	2.3	1,910	△7.1	1,940	△6.9	1,230	△6.1	63.21
通期	41,400	3.2	3,750	2.9	3,820	2.9	2,330	2.1	119.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年12月期 1 Q	20,763,600株	29年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	30年12月期 1 Q	1,304,906株	29年12月期	1,304,670株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年12月期 1 Q	19,458,843株	29年12月期 1 Q	19,460,021株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する注記	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は前年に比べ減少傾向にあり、厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,265百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1,284百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は1,288百万円（前年同期比3.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は818百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』や、光漏れを低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』、生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」に「サイドカバー」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』など、近年発売した付加価値の高い製品を販売の軸とし、市場拡大に取り組んでまいりました。

また、ドイツ（シュツットガルト）で開催された世界最大規模のシャッター・ブラインド・門扉の展示会である「R+T2018」に出展し、日本製品のブランド認知度の向上に努めてまいりました。

以上により、売上高は8,772百万円（前年同期比1.5%減）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,198百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

ホテルや都市再開発案件に入庫速度の速い『パズルタワー』が採用されたことや、改造・改修工事案件において受注が伸長したことで、売上高は654百万円（前年同期比16.8%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組み、47百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

[減速機関連事業]

国内外の設備投資動向が堅調に推移するなか、特殊減速機や産業機器向け汎用減速機等の受注が前年を上回り、売上高は838百万円（前年同期比3.5%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで、39百万円（前年同期比137.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は51,845百万円で、前連結会計年度末と比較し397百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は34,736百万円で、前連結会計年度末と比較し652百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,109百万円で、前連結会計年度末と比較し255百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が減価償却により減少したことや、保有株式の時価の下落等により投資有価証券が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は13,384百万円で、前連結会計年度末と比較し62百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や賞与引当金が増加した一方で、未払金および未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は38,461百万円で、前連結会計年度末と比較し459百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は65.9%と、前連結会計年度末と比較し、0.4ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復が続くことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成30年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成30年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,503,040	11,887,249
受取手形及び売掛金	15,232,719	16,188,090
商品及び製品	591,762	612,997
仕掛品	1,344,727	1,353,522
未成工事支出金	98,030	72,260
原材料及び貯蔵品	3,131,846	3,413,568
その他	1,199,687	1,224,355
貸倒引当金	△18,061	△15,966
流動資産合計	34,083,752	34,736,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,233,994	13,239,237
減価償却累計額	△8,972,294	△9,040,562
建物及び構築物(純額)	4,261,699	4,198,675
土地	7,396,065	7,396,065
その他	15,009,852	15,017,778
減価償却累計額	△13,809,852	△13,862,398
その他(純額)	1,199,999	1,155,380
有形固定資産合計	12,857,765	12,750,121
無形固定資産	252,987	247,576
投資その他の資産		
投資有価証券	2,309,164	2,073,987
退職給付に係る資産	360,579	359,851
その他	1,786,265	1,872,104
貸倒引当金	△202,447	△194,330
投資その他の資産合計	4,253,562	4,111,613
固定資産合計	17,364,315	17,109,311
資産合計	51,448,068	51,845,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,453,246	6,956,777
未払法人税等	909,432	484,509
賞与引当金	218,947	642,346
役員賞与引当金	76,780	17,575
製品保証引当金	12,660	11,120
その他	2,365,650	1,862,051
流動負債合計	10,036,717	9,974,380
固定負債		
役員退職慰労引当金	357,830	344,512
退職給付に係る負債	2,979,655	2,998,413
その他	72,638	67,078
固定負債合計	3,410,124	3,410,003
負債合計	13,446,842	13,384,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	25,099,889	25,723,998
自己株式	△669,529	△669,884
株主資本合計	33,300,376	33,924,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657,825	506,230
繰延ヘッジ損益	2,511	△3,742
為替換算調整勘定	48,814	44,279
退職給付に係る調整累計額	△313,659	△291,477
その他の包括利益累計額合計	395,492	255,289
非支配株主持分	4,305,357	4,281,584
純資産合計	38,001,226	38,461,005
負債純資産合計	51,448,068	51,845,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	10,272,724	10,265,489
売上原価	5,682,049	5,717,232
売上総利益	4,590,675	4,548,256
販売費及び一般管理費	3,337,609	3,263,351
営業利益	1,253,066	1,284,905
営業外収益		
受取利息	277	278
受取配当金	1,737	1,660
不動産賃貸料	8,959	8,946
その他	19,535	24,505
営業外収益合計	30,510	35,390
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	20,303	18,321
為替差損	10,204	8,628
その他	3,428	5,305
営業外費用合計	33,939	32,260
経常利益	1,249,636	1,288,035
特別損失		
固定資産除却損	253	462
特別損失合計	253	462
税金等調整前四半期純利益	1,249,383	1,287,573
法人税、住民税及び事業税	447,581	465,278
法人税等調整額	△13,957	△28,835
法人税等合計	433,623	436,442
四半期純利益	815,759	851,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,887	32,432
親会社株主に帰属する四半期純利益	797,871	818,698

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	815,759	851,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,718	△163,535
繰延ヘッジ損益	△5,372	△6,253
為替換算調整勘定	△4,510	△4,534
退職給付に係る調整額	31,211	23,070
その他の包括利益合計	△3,390	△151,253
四半期包括利益	812,368	699,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	809,997	678,496
非支配株主に係る四半期包括利益	2,371	21,381

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,902,340	560,363	810,019	10,272,724	—	10,272,724
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	22,371	22,371	△22,371	—
計	8,902,340	560,363	832,391	10,295,096	△22,371	10,272,724
セグメント利益	1,198,006	38,442	16,618	1,253,066	—	1,253,066

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,772,522	654,508	838,457	10,265,489	—	10,265,489
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,101	15,101	△15,101	—
計	8,772,522	654,508	853,559	10,280,590	△15,101	10,265,489
セグメント利益	1,198,262	47,110	39,533	1,284,905	—	1,284,905

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。